バス停、医療機関、買い物施設等までの移動を補完するため、予約に応じて運行するデマンド型交通や乗合タクシー、又は自宅から目的地までの移送サービスを導入する考えについて、より効率的な交通体系が構築できればと考えるがその対策について。

4通院支援について。医療機関への通院は、高齢者にとって単なる移動の問題だけでなく、健康を維持するための重要な生活基盤である。

①通院のために移動が困難となっている住民の実態は把握されているのか。

②医療機関、社会福祉協議会、介護事業者、交通事業者等と連携し、通院を目的とした移送支援を充実させる考えはないか。

③訪問診療、訪問看護、オンライン診療等についても交通問題を補完する手段として考えられるがいかに。

5スーパーの閉店後の買い物支援について。スーパーの閉店により、特に車を運転できない高齢者等の買い物環境が大きく変化した。町は買い物が困難となっている住民の実態をどのように把握しているのか。また、移動販売、宅配、買い物支援、共同購入、民間事業者との連携など、買い物弱者対策を検討していく考えについて。

6地域住民・民間事業者との連携について。1～5の質問内容について、これを行政だけですべての支援を担うことは無理がある。そこで、タクシー事業者、社協、自治会、地域住民、NPO、介護事業者、民間企業などと連携し、地域全体で交通弱者の移動を支える仕組みが必要と考えるがその対策について。

7今後10年を見据えた生活交通政策について。人口減少と高齢化が今後更に進むことを考えれば、現在の交通の仕組みを維持するだけでは、将来的に対応できなく可能性がある。町は、今後10年を見据え、「移動できる生活」をどのように確保して行くかという考え方、また、交通、医療、買い物、介護、福祉を個別の施策として考えるのではなく、「高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるための生活基盤」として総合的に考察した施策が必要と考えるが今後の政策について。

企画政策課長　**1**移動困難者の実態把握に関して、車を運転できない高齢者の人数は把握していない。

2現在運行している「まちバス」の利用実績は、運行開始の令和3年度から7年度まで年々利用者も増え、着実に定着してきた。体が不自由で一般のバス停までの移動が困難な方については、民間タクシーの活用等、ニーズに応じた適切な移動手段をご利用いただけるよう役割分担を図っている。

3議員提案の交通手段については、これまでも検討してきたが、色々な課題があり、断念した経緯がある。「まちバス」の運行形態等の見直しの検討に併せ、広く意見を伺っていきたい。

4医療機関への通院は、高齢者の健康を維持するために必要不可欠である。町内の一部の医療機関では、自前の送迎サービスが実施されている。

　また、近隣市町においても送迎可能な医療機関もあるので、その情報を集約し、必要に応じて個別相談による対応や情報提供に努めている。

　現時点においては、通院に苦慮されている移動困難者の詳細な人数は把握していない。状況を総合的に勘案すると、現時点において行政主導による新たな通院移送支援を実施することは困難であると考えている。

5買い物が困難となっている住民の実態調査は行っていないが、店舗の閉店に関して、区長等から話を伺ったり、職員による情報収集などでも実情をお聞きしている。

　まずは、町や民間が行う配食サービス、移動販売、宅配、さらには地域住民の助け合い「共助」など、地域に存在する多様な社会資源、タクシーや町バスの活用を促進していきたい。

6既に町では、地域の実情に応じた持続可能な交通サービスを行うため、町議会議員、住民代表やタクシー事業者、関係機関の代表、有識者など21名で組織する「大町町地域公共交通会議」を設置しており、交通弱者対策を含め、様々な角度から意見を伺っている。

7今後の社会情勢の変化や財政状況を見極めながら、行政の役割・責務を念頭に、総合的な視点で、高齢者だけでなく誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる持続可能な環境づくりを、住民や関係機関等との協働・連携を図りながら進めていきたい。

大町の防災対策と非常時の備えについて

江口　正勝　議員　大町の防災対策と非常時の備えについて伺う。町民の皆様の安心・安全につながる対策と備えが出来ているのだろうか。

1大町は、どのような災害を想定して防災対策を練っているのか。

2第5次総合計画の防災関連の課題の進捗状況は。消防団員の確保、地域を守る自主防災組織の充実・強化、高齢者や障がい者など支援が必要な要支援者への対策など。

3イザというとき、だれがどのような行動をとるのか。消防、行政、地域、国や県などの行動。

4避難所の確保とライフライン（電気、ガス、水道）の復旧は。非常食などの備えは充分か。

5被災者の復旧のための経済的支援と心身のケアは、どのように対応するか。